

ウクライナ9月訪問 報告会

「戦時下と文化、人々と暮らし」

10/26 (日) 14時～16時

会場：小高伝道所(旧小高教会幼稚園／本町1丁目47)

入場無料：ウクライナ支援へのカンパをお願い致します。

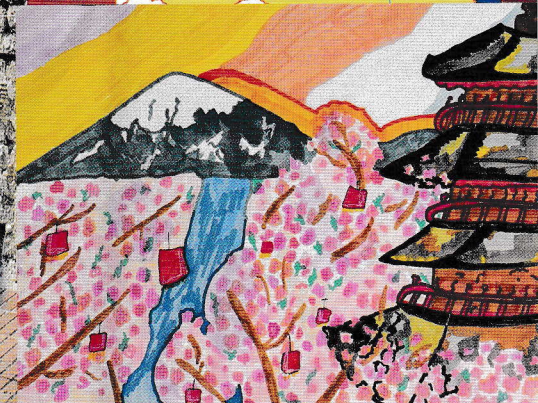
主催：小高教会幼稚園同窓会

(飯島 信 080-7010-2170／小林友子 090-5807-3212)

協賛：希来基金

10/11 (土) ～ 10/19 (日) 10時～17時

子どもたちが描いたチャリティ展



報告者：すぎた和人



国際文化外交フェスティバル
「ART FOR PEACE」に
参加して来ました。

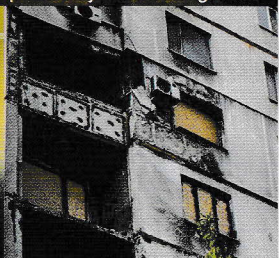
9月に約3週間、戦時下のウクライナに滞在し、
垣間見た人々の暮らしぶりを映像を交え報告します。



チェルノブイリ、首都キーウ、
東部ハルキウ、ジトーミル、
そしてアウシュヴィッツ。
今、世界で起きている事を
しっかり伝えたい。



photos by Kazuto Sugeeta.



防空警報が鳴る中、地下シェルターで人々は文化を語り続けた。

今年4月に続いて、ウクライナ・ジトーミルで9月に開催された国際文化外交フェスティバル「ART FOR PEACE」に招かれ、希来基金より派遣され、3週間の旅程で再び戦時下のウクライナを訪れました。現地ではロシアの攻撃が激化しており、私の登壇後に防空警報が鳴り響いたものの、避難した地下シェルターで継続して熱く文化について語り合われたのでした。そこで知り合った芸術学部 of 学部長に招待され、首都キーウでは無人機の攻撃を警戒しながらもバレエとオペレッタを鑑賞し、伝統的な民家を保存する建築博物館を見学。自分たちの歴史や文化を大切にしているウクライナの人々から小高との共通点を感じ取った次第です。チャリティ展示と報告会を通して、小高の皆さんにも知って頂ければ幸いです。（すぎた和人）



ウクライナ・ドラゴマノフ大学芸術学部の
V・フェドリシン学部長と国立歌劇場にて。

すぎた和人／小高在住。活動芸術家。
2016年から希来基金に同行し、ウクライナを5回訪問。インタビュー記録集「おだかのあかり」を制作、「小高幻流」を発行。

* 今回、希来基金へカンパされた
1200\$ (18万円) の内、600\$ をチェルノ
ブイリ・ホステージ基金、300\$ をそれ
ぞれ民間団体ゼムリャキとハルキウ無
料食堂の土子文則さんへ届けました。

